

高瀬山



能登町立小木中学校 学校だより 7月号

令和3年7月7日(水)

メールアドレス: jhs-ogi-daihyo@noto.ed.jp

HPにもアップしています。QRコード⇒



『創造(想像)と挑戦』



～「困った」を「よかった」に～

ふくべ鍛冶代表 干場 健太郎 さん

6月29日(火)に職業人講話が行われました。講師は、宇出津でふくべ鍛冶を経営されている干場健太郎さんです。役場勤務からお母さんの死をきっかけに家業の鍛冶屋さんを継ぐことを決意。お父さんに様々な技術を教えてもらいながら、お店を発展させていくにはどうしたらいいか、常に考えていたそうです。「古くて新しい鍛冶屋の窓口」を目指し、現在はインターネットを活用しての通信販売や商品の販売を進め、人気商品は24ヶ月待ちだそうです。

「奥能登には働く場所がない」という言葉をよく聞きます。そしてたくさんの若者が地元を離れ、金沢やもっと遠いところに就職していきます。そんな中で、田舎だからこそ、奥能登だからこそ成功へのチャンスがあると熱く語っていただきました。

成功のヒントは自分たちの身のまわりにたくさんあって、それを見つけられるか見つけられないかは自分次第なのだ、自分の生き方を見直すきっかけとなった講話でした。

行商

店舗販売

移動販売車

ネット販売

時代に合ったサービスやものづくりを行いました。時代の変化に対応できる会社が生き残り、発展していきます。



使い捨てる文化から、長く使う文化に変えていきたいんです。守りたい事業はお客様の要望に応えるオーダーメイド、これから伸ばしていきたい事業は道具の修理です。

人口の三分之一が集まる都市部より、三分の二が住んでいる地方の方がビジネスチャンスは多いんです。

注文はどんどん増えていますが、一番の課題は職人の養成です。今、作業の機械化を考えています。

まとめ

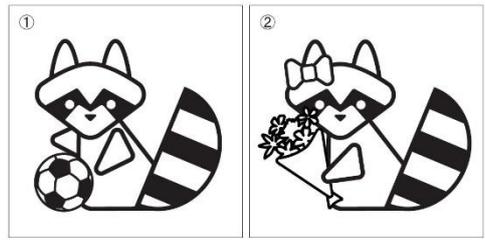
何もやらないで後悔するより、行動に移して後悔する。行動したことは、失敗してもプラスになるのです。



僕は「世の中の穴ぼこを見つけて埋める」という言葉が印象に残りました。確かに生活を注意深く見ていけば、不便なことはいくつかあります。そのような「不」を見つけてどう埋めるか考え、時代に合った実現の仕方を探すのが大切だとお話を聞いて分かりました。()

人権集会 ～多様な性ってなんだろう？～ (6月9日)

「このイラストの性別はなんだと思いますか？」という先生の質問に、生徒は「サッカーをしているから男性」「リボンをつけているから女性」と答えました。そこで「男性・女性と答えてくれたけど、性別は本当に2つだけなのでしょうか？」と問いかけました。



テレビやネットニュースにも最近よく見る「LGBT」という言葉。この言葉の意味を考え、性の多様性について全校生徒で考えました。

生徒の感想から

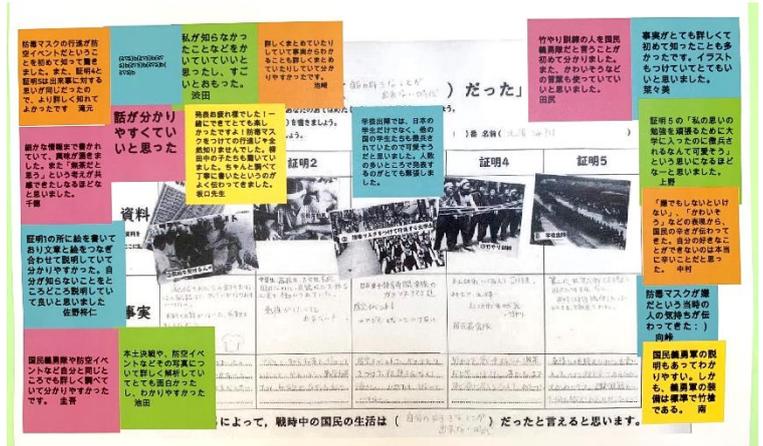
- 性別は男女だけではないということが分かった。
- 外見からだけで性別を判断していたので、これからは考え方を換えようと思った。
- いろいろな「違い」を尊重していくことが大切だと思った。



柳田中とのオンライン合同授業 (6月11日)

小木中学校3年生2名と柳田中学校3年生14名が、オンラインを使って合同授業(社会)を行いました。

さんや さんがカメラに向かって自分の考えを発表すると、柳田中の生徒を映した画面から大きな拍手が起こりました。そして、パソコンの中に保存されている自分のシート(柳田中の生徒も見ることができます)には、柳田中の生徒からの感想が次々と貼られていきました。いつもは2人で感想を言い合ったり意見交換したりしていますが、たくさんの感想をもらいとてもうれしそうでした。まだ2回目ですが、これからも定期的に行っていく予定です。



テレビにはオンライン授業に参加している小木中と柳田中の様子が映し出されています。離れた場所でも一緒に授業ができます。

さんがまとめた太平洋戦争中の人々の様子が。さんの発表に対する感想がどんどん貼られていきます。小木中の2人とはまた違った考え方もあり、「そんな考え方もあるのか」とうなずく場面もありました。

救急法講習会 (6月22日)

日本赤十字社石川県支部の講師による胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED(自動体外式除細動器)を用いた除細動を学びました。3年生は1年生の時に、1・2年生は小学校の時に講習を受けていますが、忘れていることが多かったようです。今回はコロナ禍ということで、実際に実技をすることができた生徒は少なかったのですが、いざというときにこの講習で学んだことを生かしてほしいと思います。



七夕飾り (7月5日)

生徒会広報委員会が中心となって、七夕飾りを作りました。全校生徒と全職員がそれぞれ願いごとを書きましたが、多かったのはやはりコロナ関係でした。皆さんの願いがかなって、コロナが収まりマスクをつけなくてもいい生活を早く送りたいですね。

竹は1階から3階までの高さがあります



《小木中ギャラリー》
ランブシェード
〈2年生作〉



現在展示中です。通知表渡しの際には是非ご覧下さい。

有意義な夏休みを！

校長 水上 晃一

4月5日の入学式で10名の新生を迎え、全校生徒23名で令和3年度がスタートしてからあっという間に3ヶ月以上が経ち、間もなく42日間の長い夏休みが始まります。この間大きなケガなどもなく、生徒全員元気に勉強や運動に頑張ってくれました。保護者や地域の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心からお礼申し上げます。1学期を振り返ってみて、生徒一人ひとりが着実に成長してきているのを実感でき、私自身とてもうれしく思っています。

さて、夏休みは子どもたちに与えられた素敵な時間です。保護者の皆さま方、子どもたち自身が目標を定めて、充実した夏休みを過ごすことができるように、ぜひご家庭で話し合い、有意義な計画と着実な実行に向けてご指導をよろしくお願いします。

最後に、コロナ禍ではありますがお盆を中心に交通量の増加も予想されます。交通事故や水の事故などに十分注意し、9月1日全員元気に2学期の始業式を迎えられることを願っています。



7・8月の行事予定



7月	曜	主な行事予定	8月	曜	主な行事予定
15	木	小木地区防災の日	1	日	
16	金		2	月	
17	土		3	火	
18	日		4	水	
19	月	吹奏楽コンサート	5	木	
20	火	終業式	6	金	全校登校日
21	水	通知表渡し	7	土	
22	木		8	日	
23	金		9	月	
24	土		10	火	学校閉庁日
25	日		11	水	学校閉庁日
26	月		12	木	学校閉庁日
27	火		13	金	学校閉庁日
28	水	学校集金口座振替日	14	土	
29	木		15	日	小木地区防災の日
30	金		16	月	学校閉庁日
31	土		17	火	